

(様式3)

令和5年度要望課題の傾向と対応

農業
水産業 部門
林業

1 要望課題の検討経過

7 課題の要望があり、重点研究目標別では「循環型林業の推進のためのスマート林業及び木材利用の推進」で3課題、「森林の整備による多面的機能の発揮」で4課題であった。

令和4年度愛知県農林水産技術会議林業専門分科会を7月28日に開催し、提出のあった要望7課題について検討を行った結果、課題設定したものは5課題、課題を設定しなかったものは2課題であった。

2 令和5年度要望課題の傾向及び課題化の視点

○ 要望の傾向

近年注目されているエリートツリーや早生樹の試験研究に関する要望が寄せられた。特に、エリートツリーについては、閉鎖型採種園における効率的な種子生産技術の開発に関する要望が多く寄せられた。

また、コンテナ苗の生産技術の開発についても引き続き要望が寄せられた。

○ 対応

試験研究基本計画2025の目標達成に向けて、循環型林業を推進するための閉鎖型採種園における採種木の育成及び結実促進技術の開発や、森林の多面的機能の発揮に向けた技術開発に関する要望について課題化し、重点的に取り組んでいくこととした。